

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）【教育学研究科】

【学校教育専攻】

[教育科学コース]

1. 教育課程の編成・実施等

教育科学コースでは、今日の学校教育や教員、子どもや家庭、地域社会を取り巻く様々な教育問題について、教育社会学、社会教育学等の教育科学的な視座から多角的に探究し、学校教育と地域との連携を総合的に捉える能力を養う学習を実施する。

また、臨床心理士領域では臨床心理士養成をはじめスクール・カウンセラー等の養成を行うとともに、児童・生徒の内面を臨床心理学的観点から洞察し、サポートできる教員の養う学習を実施する。

2. 教育・学習方法

体系的な教育課程及び研究指導を通じて、教育学の関連領域における高い研究遂行能力と研究遂行に求められる高い倫理観を育む機会を提供する。

3. 学習成果の評価

学習成果を厳格に評価するため、カリキュラム・ポリシーに沿って策定された到達目標の到達状況が確認できる明確な成績評価基準を策定し、当該基準に基づき厳格な評価を行い、修士論文の審査及び最終試験を適切に行う。

[教科実践コース]

1. 教育課程の編成・実施等

教科実践コースでは、「授業力」の高度化を中心におき、①授業研究・授業分析②授業内容開発（教育内容の検討と教材開発）③授業開発（指導計画と授業づくり）の視点から教科指導力の養う学習を実施する。

2. 教育・学習方法

体系的な教育課程及び研究指導を通じて、教育学の関連領域における高い研究遂行能力と研究遂行に求められる高い倫理観を育む機会を提供する。

3. 学習成果の評価

学習成果を厳格に評価するため、カリキュラム・ポリシーに沿って策定された到達目標の到達状況が確認できる明確な成績評価基準を策定し、当該基準に基づき厳格な評価を行い、修士論文の審査及び最終試験を適切に行う。

[特別支援教育コース]

1. 教育課程の編成・実施等

特別支援教育コースでは、障害児教育学、障害児心理学等の各領域の専門知識を深め、教育実践的原理・方法論について、現代教育科学諸分野の研究情報を密接に関連づけて総合し、特別支援教育の理論と実践における体系的研究を進めることによって、現代特別支援教育の諸問題を解決する能力を養う学習を実施する。

2. 教育・学習方法

体系的な教育課程及び研究指導を通じて、障害児教育学及び障害児心理学等の関連領域における高い研究遂行能力と研究遂行に求められる高い倫理観を育む機会を提供する。

3. 学習成果の評価

学習成果を厳格に評価するため、カリキュラム・ポリシーに沿って策定された到達目標の到達状況が確認できる明確な成績評価基準を策定し、当該基準に基づき厳格な評価を行い、修士論文

の審査及び最終試験を適切に行う。

【教職実践専攻】

[教育実践開発コース]

1. 教育課程の編成・実施等

学部卒学生に対しては、入学から修了・就職に至るまで教職に関する一貫教育を強化し、全員が青森県をはじめ各校種の学校の教員となった上で理論と事実に基づいた実践を行い、将来的には学校・地域の研究・研修の中心的な役割を果たせる教員を養う学習を実施する。

2. 教育・学習方法

「基礎科目」「独自テーマ科目」「発展科目」「教育実践科目」「実習科目」からなる「理論と実践との往還・融合」により、青森県の教育に貢献する教育者を育成する機会を提供する。

3. 学習成果の評価

学習成果を厳格に評価するため、カリキュラム・ポリシーに沿って策定された到達目標の到達状況が確認できる明確な成績評価基準を策定し、当該基準に基づき厳格な評価を行い、学習成果報告書の審査を適切に行う。

[ミドルリーダー養成コース]

1. 教育課程の編成・実施等

現職教員学生に対しては、勤務校や地域の研修会の中心として、その活動を協働的に組織するとともに、教育委員会及び地域との連携・協働のもと、青森県の教育に貢献することを見据えた各種研修の機会を他の同僚に提供できる教員を養う学習を実施する。

2. 教育・学習方法

「基礎科目」「独自テーマ科目」「発展科目」「教育実践科目」「実習科目」からなる「理論と実践との往還・融合」により、青森県の教育に貢献する教育者を育成する機会を提供する。

3. 学習成果の評価

学習成果を厳格に評価するため、カリキュラム・ポリシーに沿って策定された到達目標の到達状況が確認できる明確な成績評価基準を策定し、当該基準に基づき厳格な評価を行い、学習成果報告書の審査を適切に行う。